

- ★三八地域県民局地域農林水産部八戸家畜保健衛生所
- ★三八畜産衛生協議会



豚熱ウイルス侵入防止措置を徹底しましょう！

豚熱のワクチン接種推奨地域である山形県と三重県の農場で豚熱の発生が確認されたことを受け、農林水産省が設置する家畜衛生部会の拡大豚熱疫学調査チームから「ワクチン接種推奨地域の農場における今後の発生予防対策」が提言されました。

現時点で本県は豚熱のワクチン接種推奨地域となっていませんが、野生イノシシの目撃情報も増加しており、ウイルス侵入のリスクは高まっているとの認識のもと、提言を参考に農場へのウイルス侵入防止措置の一層の徹底をお願いします。

○野生動物の侵入防止対策

- ☑ 衛生管理区域を囲う防護柵、豚舎等開口部への防鳥ネットを設置する

⚠ 設置済みの場合でも定期的に破損がないか確認し、**破損がある場合には速やかに修繕**しましょう！



○車両進入時の衛生対策

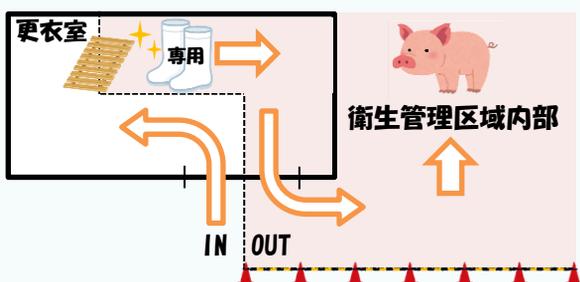
- ☑ 衛生管理区域内に入る車両は消毒を行う

⚠ タイヤの溝に汚染された土などが残っていると**消毒ゲートや消石灰帯だけでは十分な消毒効果が期待できません。**動力噴霧機などで洗浄してから消毒を行いましょう！

○衣類・靴の交換と交差汚染の防止

- ☑ 衛生管理区域や畜舎入場時は手指消毒し、専用の衣類・靴を使用する

⚠ 発生農場ではこれらの取組が不十分でした。**衣類・靴の交換を徹底するとともに、交差汚染防止のために交換前後の動線を完全に分離**しましょう！



- 交換前後の衣類・靴が触れないように置き場所を分ける！
- 衣類・靴の交換前後で同じところを触らない・通らない！
- スノコなどを用いて交換前後のスペースの明確な境界を設ける

○敷料の衛生対策

- ☑ 飼料や畜舎で使用する資材の保管場所への野生動物侵入を防止する

⚠ 山形県での発生事例では敷料を屋外で保管しており、保管場所に多くの野鳥が飛来し、野生動物も侵入可能な状態でした。
豚舎への野生動物等の侵入防止対策が徹底されていても、直接豚が触れ、口から豚の体内に入る敷料がウイルスで汚染されてしまっては意味がありません。
敷料を保管するときは開口部に防鳥ネット等を設置した屋内で保管する、ブルーシートで覆うなど野生動物や野鳥との接触が起こらないように徹底しましょう！

○使用する消毒薬の選択と適切な頻度での交換

- ☑ 衣服・靴に排せつ物、汚泥等が付着した場合は、汚れを洗浄してから消毒する

⚠ 衛生管理区域や畜舎へ入る際は、専用の靴に履き替えますが、踏込み消毒槽を併用する農場も多いかと思われます。
その場合、用途や温度条件を考慮し、消毒効果が十分に得られる消毒薬を使用し、適切な頻度で交換してください。

三重県での発生事例

→豚舎入口の踏込み消毒槽に炭酸水素ナトリウムを使用
豚熱において炭酸水素ナトリウムの消毒効果は十分に確認されていません。

山形県での発生事例

→豚舎入口の踏込み消毒槽に逆性石けんを使用
逆性石けんは低温下では消毒効果が激減しますが、消石灰等のアルカリ成分を添加すると効果が高まります。

○農場内作業動線及び作業手順

- ☑ 畜舎外での病原体による汚染防止対策を講じる

⚠ 三重県での発生事例では豚舎間で豚を移動する際、屋外の通路や敷地内を歩かせていました。
屋外の通路等の消毒徹底は難しいため、豚舎間で豚を移動する際には可能な限り洗浄・消毒済みケージ等を利用しましょう。

○従事者への教育訓練

- ☑ 飼養衛生管理マニュアルを作成し、従事者等への周知を徹底する

⚠ 飼養管理時の消毒や作業手順について、皆で同じことができるよう、文書や図として整理し、定期的な教育・訓練を徹底しましょう。

